

福博連携を強化する空間利活用の将来ビジョンを考える

～「春吉橋を核とした空間利活用に関する技術研究会」を設置します～

【目 的】

福岡市の都心中枢である「天神」と「博多」。この2つの都心が「競争と協調」によって共に発展していくためには、「回遊性」を高めることが重要な鍵となります。

しかし、回遊性を支える国体道路やその周辺は、歴史遺産や世間遺産などが多く残され、多彩な市民の暮らしがある一方、賑わいや快適性に欠け、更に老朽化したインフラや建物、公共交通の低い利便性などの課題があります。

このため、現在、“回遊のまちづくり”の実現に向けて、福岡市、福岡県、国土交通省が一体となって、地下鉄七隈線延伸や那珂川改修、春吉橋架替など様々なプロジェクトを始動しています。

今回、特に回遊のクロスポイントとなる『春吉橋』を核として、2020年頃を想定した空間利活用の将来ビジョンを技術的見地から検討し、福博連携のシンボルと呼ぶに相応しい空間づくりを産学官及び地域とが連携して推進するための「春吉橋を核とした空間利活用に関する技術研究会」を設置することにしました。

【主な検討事項】

- ・ 福岡の新たなシンボルとしての春吉橋の空間のあり方
- ・ 福博連携強化のための国体道路等の空間再編と交通施策のあり方
- ・ 持続可能な空間利活用に向けた産学官及び地域との連携のあり方

【委 員】 別紙参照

【第1回研究会の開催予定】

日 時：平成25年11月25日 9：30～12：00

場 所：福岡市中央区天神1-4-1

（株）西日本新聞会館 福岡国際ホール16F 「志賀」の間

その他：会議は公開で行われます。傍聴を希望する方は、会議開始10分前に受付を済ませ、係員の指示にしたがって傍聴席に着席して下さい。
なお、駐車場はご用意しておりませんので、車でお越しの際はご注意ください。

《問い合わせ先》

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所

電話：092-681-4731（代表）

技術副所長 白田 雅彦（内線 204）

計画課長 船井 敏勝（内線 451）

「春吉橋を核とした空間利活用に関する技術研究会」

委員名簿（５０音順）

井上	文彦	福岡県建設業協会 専務理事
植松	岳	九州経済連合会 常務理事
坂口	光一	九州大学 教授
高木	直人	福岡経済同友会 常任幹事 事務局長
立花	英樹	福岡商工会議所 常務理事
辰巳	浩	福岡大学 教授
帆足	リエ	元西日本リビング新聞社 統括編集長
牧角	龍憲	九州共立大学 教授
松永	千晶	九州大学 助教
松本	法雄	元福岡アジア都市研究所 副理事長

[事務局]

国土交通省 九州地方整備局 福岡国道事務所
福岡市
福岡県